

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	チャレンジラボ 清水校		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日～2025年3月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2025年3月1日～2025年3月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基礎学力の向上のためのプログラムを実施している。	タイムトライアルによる計算の基礎力の向上や、音読や文章読解トレーニングを通じた文章を正しく理解する力の育成に力を入れています。	個別に学習計画を立て、成功体験を積み重ねることで学習への自信を育てる。
2	運動プログラムの充実	室内でできる軽運動や、バランス感覚を養うアクティビティを取り入れている。長期休暇時には卓球も取り入れ、体力作りの他、他児との交流が自然にできるように配慮している。	子どもの発達段階に合わせた運動メニューを考案し、無理なく楽しめる形で提供する。
3	保護者様との連携	送迎時の会話や定期的な面談・連絡を行い、保護者様との情報共有を行い信頼関係を気付けるよう努力している。	個別相談の機会を定期的に設定し、子どもの変化や支援の方向性について、より深い話し合いができる環境を整える。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校との連携が難しい場合がある。	学校ごとに支援の体制が異なり、情報共有がスムーズにいかないことがある。	相談員やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携を強化する。
2	非常時等の対応について周知・発信不足	防災への取り組みや各種マニュアルは作成しているが、契約時のみの説明にとどまり周知機会が不足している。	面談時にも周知していく。
3			